

2023 年 6 月 27 日

神戸国際大学

キリスト教センター通信 第 93 号



「大人の階段」

理事長 バジル 八 代 智

今から 40 年前の 1983 年に H₂O というグループが「思い出がいっぱい」というヒットソングを出しました。この歌の中で「大人の階段昇る、君はまだシンデレラさ、幸せは誰かがきつと運んでくれると信じてるね、少女だったといつの日か思う時がくるのさ…」という有名なフレーズがあります。私も大学時代によくカラオケで歌った曲ですが、少女から大人へと成長する過程が優しく描かれています。

さらに時代を遡れば、「なごり雪」という伊勢正三さん作詞・作曲の名曲があり、多くのシンガーがカバーしておりますのでご存知の方も多いと思いますが、この歌にも「時が行けば幼い君も、大人になると気づかないまま、今春が来て君はきれいになった、去年よりずっときれいになった…」と、ここでも大人へと成長する少女への優しいエールが贈られています。

立教勤務時代、保護者向けの講演会が開かれ、そこで発達心理学が専門の教育学者をお招きしてお話を伺いました。その先生がおっしゃったのは、子供は何でも人のせいにするが、大人の階段を昇った人は失敗したり何らかの問題に直面した時に、それを人のせいにするのではなく自らの責任として解決すべく努力するということです。その話を聞いてなるほどと妙に納得させられたのですが、要するにいろんな出来事に直面して失敗や挫折を経験した時に、それを人のせいに行っている限り、そこに自分の反省はなく、反省がなければおのずと成長もないわけで、歳を重ねても大人の階段を昇ることができずにその場で足踏み状態の、心は子供のままの大人が増えてくるということです。

「思い出がいっぱい」がリリースされた同じ年に、ダン・カイルーというアメリカの心理学者が「ピーターパン・シンドローム（症候群）」という世界中で話題となった本を出版しました。この本もまた子供の心のまま成長しきれぬ大人の問題を扱ったものですが、丁度この頃から、ここ日本でも「引きこもり」や「不登校」といった単語が飛び交い、社会問題となりました。

今このチャペルに出席している学生の皆さんは、大人に向けての健全な成長過程にあると思います。皆さんが本学を卒業してそれぞれ社会人となった時、学生時代には想像もできないほどの社会的責任が皆さん一人ひとりに覆いかぶさってくることでしょう。

そのような重圧に押し潰されそうになった時には、どうぞ次のような主イエスのみ言葉を思い出してください。「ごく小さな事に忠実な者は、大きな事にも忠実である。ごく小さな事に不忠実な者は、大きな事にも不忠実である」（ルカ 16:10）。

大きな事に挑戦して、ビッグになってやろうなんて野心は不要です。仲間のため、お客さんのためにといった人を愛して思いやる心を常に持ち続け、目の前に与えられた小さな仕事を誠実に取り組んでいる限り、皆さんは着実に大人の階段を昇って成長し、大きな仕事も任せられる存在となっていることでしょう。

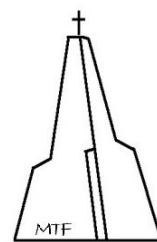
学生の皆さんが心の中で抱いている大きな夢を実現するためには、目の前の小さな事に忠実に取り組む姿勢が最も大切なんだということを覚えて、これからも充実したキャンパスライフを送ってくださいますよう祈っています。

一口メモ 天使の階段/ヤコブの梯子

ときどき、暗い雨雲のなかから明るい光が差し込んでいる光景を見ることがあります。本当に天国からこの世に一筋の希望の光が届いているかのように見えます。

階段・梯子を昇り降りしてしているのは天使で神のメッセージを伝えに来ているとされています

「…15 見よ、わたしはあなたと共にいる。あなたがどこへ行っても、わたしはあなたを守り、必ずこの土地に連れ帰る。わたしは、あなたに約束したことを果たすまで決して見捨てない。」創世記 28 章 15 節



神戸国際大学
キリスト教センター
諸聖徒礼拝堂

ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、
わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。
またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。
明日を恐れるすべての人々に、
あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に適う決断へと導かれますように。
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な
子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン。



ジャスティン・ウェルビー大主教
スティーブン・コットレル大主教

A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,
we pray for the people of Ukraine today.
We pray for peace and the laying down of weapons.
We pray for all those who fear for tomorrow,
that your Spirit of comfort would draw near to them.
We pray for those with power over war or peace,
for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.
Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,
that you would hold and protect them.
We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.
Amen.

Archbishop Justin Welby
Archbishop Stephen Cottrell



ウクライナのための祈り (カード) 日本聖公会東京教区のページへ

禁複製転載 (C) St.Michael's KIU_MTF
神戸国際大学キリスト教センター

